

台風22号・23号で被災された島民の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。  
不安な日々が続く中とは存じますが、皆さまの大切な暮らしが一日も早く落ち着きを取り戻し、  
再び島に笑顔が広がる日が訪れますよう、心よりお祈りしております。

# しまのわ

第6号

企画・発行  
NPO法人八丈島  
移住定住促進協議会



## 三足のわらじで 島暮らし

しまではたらく人 vol.6

八丈島ではたらく  
魅力的な人、お店を  
ご紹介します。

プロ雀士×島唐辛子屋×商工会

### 「松岡千晶」

八丈島の「人」にフォーカスし、その魅力を発信する広報誌「しまのわ」。今回の特集は、2022年に移住し、離島暮らしを全力で満喫している松岡千晶さんです。持ち前のフットワークと明るい笑顔から、島民には「ちーぼー」の愛称ですっかりお馴染み。

プロの雀士という顔を持ちながら、島では「唐辛子農家・加工販売」と「商工会青年部」の活動にも取り組み、まさに「三足のわらじ」を履きこなす多忙な日々を送っています。

商工会青年部では、島外での物産展への参加や夏祭りの運営に尽力。「若い力で島を盛り上げたい！」と熱く語る松岡さんは、現在、青年部の新メンバーを絶賛募集中とのこと。事業者同士の繋がりを作りたい方や、島のために何か動きたいと考えている方にとって、彼女は心強いパートナーになってくれるはずです。



現在開発中のラー油



大人気の七味・一味シリーズ

#### Profile

しまではたらく人 vol.6

### 松岡 千晶 さん

- 得意技  
麻雀
- 最近のマイブーム  
船釣り
- 八丈の好きなスポット  
海から見る八丈島

そんな活動の傍ら、松岡さんが情熱を注いでいるのが、自ら栽培した島唐辛子を使ったお土産づくりです。きっかけは、以前働いていた明日葉の加工工場で、「島の素材を使って、自分しかできないものを作りたい」とふと思ったことでした。最近では、地域の事業者の悩みに耳を傾けながら、島の食材を活かしたコラボ製品を次々と世に送り出しています。今のイチオシは、八丈島名産「うみかぜ椎茸」を使ったラー油（取材時は発売前）。

精力的に活動されている松岡さんですが、島のために頑張れる理由があります。

松岡さんは、傷心状態で八丈島に移住しましたが、島の人々の温かさに触れ、元気をもらったそうです。その恩返しがしたく、八丈島のためになることを考えて行動しています。松岡さんの次なる新商品はどんなユニークなアイデアが詰まっているんでしょうか。



松岡さんのブログ

HACHIOJO INFORMATION

NEWS

Copain  
公式Instagram



NEW!

惣菜屋ダイニング Copain



手作り惣菜の数々

店舗情報

店名：惣菜屋ダイニング Copain  
 オープン日：2025年6月  
 営業時間：  
 ランチ 11:30-14:00  
 惣菜ダイニング 18:00-22:00  
 定休日 水曜日、金曜日  
 住所：東京都八丈島八丈町  
 中之郷 1695

「スパイスカレーのお店」というイメージをお持ちの方も、多いかもしれません。実は手作りの惣菜やお弁当、オールドブルまで幅広いメニューが揃っています。「島の子どもやお年寄りに、安心・安全なものを食べてほしい」というこだわりが詰まった逸品の数々。オールドブルは要望に合わせたカスタマイズも可能です。坂上地域の新たな憩いの場へ、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

中之郷地区に、「惣菜屋ダイニング Copain (コパン)」がオープンしました。店名の「コパン」はフランス語で「仲間」や「友達」を意味し、「友達が集まる場所にした」という温かい願いが込められています。お店を切り盛りするのは、中学校の同級生だという笹本潤さんと三浦友希子さんのお二人。現在は昼営業が中心ですが、今後は夜の営業日も増やしていく予定です。



お二人で運営

左：笹本潤さん 右：三浦友希子さん



定番「スパイスカレー」



八丈島移住定住促進協議会より

日頃より八丈島移住定住促進協議会の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。私たちは今年も、八丈島の移住・定住促進と地域の土台づくりに、できることから一歩ずつ取り組んでいます。

3月から東京都の復興支援事業が本格的にスタートし、観光や関連産業にも少しずつ明るい動きが戻ってきました。島内で人の往来や笑顔が増え、「やっぱり島は人がいてこそだな」と感じる場面も多くなっています。復興に向けた前向きな空気が広がっていることを、とても心強く感じています。

一方で、台風災害をきっかけに住まいや仕事の状況が変わり、やむを得ず島を離れる選択をされた方が増えていることも事実です。人口減少や担い手不足という課題が続く中で、離島者の増加は地域の将来に直結する大きなテーマです。にぎわいが戻る今だからこそ、腰を据えた取り組みが必要だと考えています。

移住協は専従職員を持たないボランティア団体ですが、  
 ・住まいの確保や空き家利活用の支援  
 ・移住希望者や島外人材の受け入れ体制づくり  
 ・地域産業とのマッチングや就労サポート  
 ・旗風寮（八高島外留学生の寮）の運営など若年層の定着支援  
 といった活動を地道に続けています。



復興による一時的な活況を、持続的な定住や関係人口の拡大につなげていくことが、私たちの役割です。「住み続けられる島」「帰ってこられる島」「選ばれる島」であり続けるために、これからも現場の声に耳を傾けながら、行政や事業者の皆さまと連携して取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

次号より紙面がちょっと楽しくなります！

いつも『しまのわ』をご覧いただきありがとうございます。次号（5月号）より、紙面内容を大幅にリニューアルいたします。

移住協の活動だけでなく、島の未来と一緒に考える紙面へ。どうぞご期待ください！

お問い合わせ

- NPO法人八丈島移住定住促進協議会
- e-mail：8joiyu@gmail.com
- 住所：東京都八丈島八丈町三根4906-3



移住協公式HP